

石川工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	英語表現ⅠⅠⅠ	
科目基礎情報							
科目番号	20076			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	環境都市工学科			対象学年	3		
開設期	後期			週時間数	2		
教科書/教材	平賀正子・鈴木希明ほか（著）「be English Logic and ExpressionⅡ Clear」（いいずな書店）いいずな書店編集部（編）「be English Logic and ExpressionⅡ Clear Workbook」（いいずな書店）桐原書店編集部（編）「DataBase 4500 完成英単語・熟語 [5th Edition]」（桐原書店）						
担当教員	香本 直子						
到達目標							
1. 英語の基本的構造，語順等が理解できる。 2. 英文の意味を正しく理解できる。 3. 基本的な表現を英語に直すことができる。 4. パラグラフライティングの基本を理解し，まとまりのある5段落のエッセイを書くことができる。 5. 与えられたテーマについて，考えをまとめ発表することができる。 6. 高校基本レベルの英単語を理解・使用することができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
到達目標 項目1, 2, 3	基礎的な文法事項や構文を理解し，活用・運用することができる。		基礎的な文法事項や構文を理解し，おおむね活用・運用することができる。		基礎的な文法事項や構文の理解および活用・運用ができない。		
到達目標 項目4	パラグラフライティングの基本を理解し，まとまりのある5段落のエッセイを書くことができる。		パラグラフライティングの基本を理解し，まとまりのある5段落のエッセイを書くことがおおむねできる。		パラグラフライティングの基本の理解およびまとまりのある5段落のエッセイを書くことができない。		
到達目標 項目5	与えられたテーマについて，考えをまとめ発表することができる。		与えられたテーマについて，考えをまとめ発表することがおおむねできる。		与えられたテーマについて，考えをまとめ発表することができない。		
到達目標 項目6	高校基本レベルの英単語を理解・使用することができる。		高校基本レベルの英単語をおおむね理解・使用することができる。		高校基本レベルの英単語を理解・使用することができない。		
学科の到達目標項目との関係							
本科学習目標 1 本科学習目標 3							
教育方法等							
概要	本授業では，英語の基礎的な文法事項・構文・単語を理解し，パラグラフライティングの基本を確認することで，発展的な英文解釈および英作文を可能にする基礎学力の確立と，幅広い視点から自らの立場を理解し社会や環境に配慮できる能力の確立を目指す。						
授業の進め方・方法	文法事項・構文・単語およびパラグラフライティングの解説，演習を行う。確認のための小テストを随時行う。 【事前事後学習など】適宜，課題を課す。 【関連科目】総合英語，英語講読Ⅰ 【MCC対応】Ⅲ-B 英語，Ⅶ 汎用的技能，Ⅷ 態度・志向性（人間力），Ⅸ 総合的な学修経験と創造的思考力						
注意点	予習・復習をしっかりと行うこと。予習では教科書や参考書を参照し，自分が理解できる箇所と理解できない箇所を把握しておく。授業では，予習で学んだことへの理解を深めるとともに不明点の解消に努める。復習では，学んだ範囲が理解できているかを確認し，知識を定着させる。 授業には辞書（紙の辞書もしくは電子辞書）を必ず持参すること。 積極的に表現し，クラスメートの発言をしっかりと聴き取ることで，コミュニケーション能力の向上に努めること。 【評価方法・評価基準】成績の評価基準として50点以上を合格とする。 後期中間試験，学年末試験を実施する。 後期中間試験（35％），学年末試験（35％），課題等（30％）						
テスト							
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	導入，Lesson 13 Population Issues 1		授業の概要を理解する。人口問題についての話題を知り，人口問題にまつわる語句を理解できる。		
		2週	Lesson 13 Population Issues 2		人口問題についての話題を知り，人口問題にまつわる表現を理解できる。		
		3週	Lesson 13 Population Issues 3		人口問題についていくつかの考えを比較検討し，自分の意見を述べることができる。		
		4週	Lesson 14 Rights and Equality 1		人権問題についての話題を知り，人権問題にまつわる語句や表現を理解できる。		
		5週	Lesson 14 Rights and Equality 2		人権問題についていくつかの考えを比較検討し，自分の意見を述べることができる。		
		6週	Lesson 15 Think Globally, Act Locally 1		世界の問題についての話題を知り，世界の問題にまつわる語句や表現を理解できる。		
		7週	Lesson 15 Think Globally, Act Locally 2		世界の問題についていくつかの考えを比較検討し，自分の意見を述べることができる。		
		8週	前半の復習		前半の復習をして理解を深める。		
	4thQ	9週	パラグラフライティングの基本		パラグラフライティングの基本を理解できる。		
		10週	「意見」のパラグラフ		意見を述べるパラグラフの基本構造を理解し，あるトピックに関してのパラグラフを作ることができる。		

		11週	「描写・説明」のパラグラフ	描写・説明のパラグラフの基本構造を理解し、あるトピックに関してのパラグラフを作ることができる。
		12週	「比較・対照」のパラグラフ	比較・対照を伴うパラグラフの基本構造を理解し、あるトピックに関してのパラグラフを作ることができる。
		13週	「因果関係」のパラグラフ	因果関係を述べるパラグラフの基本構造を理解し、あるトピックに関してのパラグラフを作ることができる。
		14週	「問題解決」のパラグラフ	問題解決のパラグラフの基本構造を理解し、あるトピックに関してのパラグラフを作ることができる。
		15週	パラグラフの拡張	今までの学習内容を応用し、5段落のエッセイを書くことができる。
		16週	後期復習	後期の復習をして理解を深める。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週			
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	3				
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	3				
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	3				
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3				
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	3				
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	3				
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	3				
				実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	3				
				英語運用能力向上のための学習	自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	3			
			英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。		3				
			英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。		3				
			母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。		3				
			関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。		3				
			関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。		3				
			実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。		3				
			分野横断的能力		汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を記述できる。	3
				他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。				3	
日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができる。	3								
円滑なコミュニケーションのための態度をとることができる(相づち、繰り返し、ボディランゲージなど)。	3								
目的や対象者に応じて適切なツールや手法を用いて正しく情報発信(プレゼンテーション)できる。	3								
結論への過程の論理性を言葉、文章、図表などを用いて表現できる。	3								
態度・志向性(人間力)	態度・志向性	態度・志向性		態度・志向性	他者のおかれている状況に配慮した行動がとれる。	3			

評価割合

	試験	課題等	合計
総合評価割合	70	30	100
基礎的能力	70	30	100
専門的能力	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0